

公募審査（採択）結果の公表

【別紙3】

令和7年4月30日  
経済産業省製造産業局自動車課

事業名：クリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充電インフラ等導入促進補助金

(採択事業者)

事業者名	法人番号	提案価格
一般社団法人次世代自動車振興センター	3010405006142	総事業費100億円

(提案事業者名)

①一般社団法人次世代自動車振興センター

(審査委員属性)

行政書士  
大学教授  
弁護士・公認会計士  
※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

(採点結果)

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	合計
一般社団法人次世代自動車振興センター	23	22	24	69

提案事業者名	事業評価項目								加算項目			合計
	必須項目	事業評価項目			加算項目			ワーク・ライフ・バランスの推進	「魅力発見！三陸常磐ものネットワーク」への取組			
提案事業者名	事業内容必須項目	実施スケジュール等	資金調達能力	事業継続性	実施方法の工夫	関連分野の知見	実施体制	必要経費等	賃上げの実施表明	ワーク・ライフ・バランスの推進	「魅力発見！三陸常磐ものネットワーク」への取組	合計
一般社団法人次世代自動車振興センター	適	10	11	10	9	13	10	6	-	-	-	69

(評価コメント)

提案事業者名	コメント
一般社団法人次世代自動車振興センター	<p>○過去の実績等から執行団体として特段問題はないと思われる。</p> <p>○申請団体は本事業について実績を有し遂行能力には問題がない。一方で、これまでの事業取り組みの問題・反省点、次回遂行時の改善点など、より事業に意欲的に取り組み姿勢は申請書からは感じられない。申請団体はこれまでの事業遂行からの正負の知見をさまざま蓄積しているはずである。本申請書は事業実行については記載されているものの、過去の知見を踏まえた意欲的かつ社会への還元性の姿勢などの熱意の点からは不満が感じられる。世界から日本のEV化進展に対する不満の声も上がっている中、本事業などによる取り組みとその成果はもっとアピールすべき点多いとの声もある。申請団体は、そうした点も踏まえてこれまでの事業成果知見の社会への還元についてどのように考えているのか、申請書においてもそうした状況の中でいかに効果的な実施への意見・意欲をもっているのか、そうした熱意が感じられる内容であればよかったと感じた。</p> <p>○費用の内容についてその詳細が分からないため、必要性・相当性について判断しかねる状況にある。</p> <p>○これまでの実績を活かし、効率的な事業実施をされることを期待する。</p>